

# 活動報告書

|     |     |
|-----|-----|
| 団体名 | 茶道部 |
|-----|-----|

| 項目             | 内 容   |
|----------------|---|
| 1.活動内容         | 活動名(大会・行事等): 大正大学 オープンキャンパス<br>活動場所: 大正大学<br>活動日時: 平成 24年 9月 30日(日) |
| 2.目標           | 8月末のオープンキャンパスでは、想定した以上の客入りだったので、それを見越して落ち着いた対応をする。                  |
| 3.結果報告         | 台風の影響、9月ということもあり、前回の客入りの1/3程度の結果であった。                               |
| 4.目標と結果のギャップ   | 台風の影響もあったが、8月よりは人数が落ち込むことも考え、お茶菓子等を少なく準備すべきであった。                    |
| 5.次回の取り組み      | 上記のように、時期などをよく考える。  |
| 6.次回活動の目標      | 100名以上のお客の確保  |
| 今回の取り組みについての評価 |   |
| ④・③・②・①        |   |

※評価について 4:よくできた、3:まあまあできた、2:あまりできなかった、1:まったくできなかった

# 活動報告書

|     |     |
|-----|-----|
| 団体名 | 茶道部 |
|-----|-----|

| 項目             | 内 容   |
|----------------|---|
| 1.活動内容         | 活動名(大会・行事等): 大正大学 オープンキャンパス<br>活動場所: 大正大学<br>活動日時: 平成 24年 8月 26日(月) |
| 2.目標           | オープンキャンパスに来た学生やその家族にお茶を飲んでもらう。人数は100人以上。                            |
| 3.結果報告         | 昨年度は7号館を使わせていただき、今年は3号館を使用しての施茶だったが、人の流れもよく、合計220人程度の方にお茶を飲んでいただいた。 |
| 4.目標と結果のギャップ   | 目標以上のお客様に少々あたふたしてしまった。途中で菓子などが足りなくなってしまった。                          |
| 5.次回の取り組み      | 予備の品の準備を見直す。  |
| 6.次回活動の目標      | 今回の人数程度の集客を狙う。  |
| 今回の取り組みについての評価 |   |
| 4・3・2・1        |   |

※評価について 4:よくできた、3:まあまあできた、2:あまりできなかった、1:まったくできなかった

# 活動報告書

団体名

茶道部

| 項目             | 内 容  |
|----------------|--|
| 1.活動内容         | 活動名:ボランティア 施茶<br>活動場所:福島県いわき市仮設住宅集合所<br>活動日時:平成 24年 8月 22日(水)～ 8月 23日(木) |
| 2.目標           | 仮設住宅に住む方たちにお茶を飲んで楽しんでいただく  |
| 3.結果報告         | 全部で50人のお客様に来ていただいたが、3月に来た際よりも人数が若干減ってしまった。また、いわき市の広報の取材をうけた。             |
| 4.目標と結果のギャップ   | 来ていただいた方には楽しんでいただけたが、暑さのせいか、外に出てお茶を飲もうという人が少なかったのかもしれない。                 |
| 5.次の取り組み       | 事前告知を徹底する。   |
| 6.次回活動の目標      | 引き続き、お茶を楽しんでもらいたいと思う。  |
| 今回の取り組みについての評価 |  |
| 4・3・2・1        |  |

※評価について 4:よくできた、3:まあまあできた、2:あまりできなかった、1:まったくできなかった